平成３０年１１月２０日

２０１９女子ハンドボール世界選手権（熊本大会）参観に伴う取組

熊本大学付属小学校　平嶋秀盛

１　目的　女子ハンドボール世界選手権熊本大会に関わることを通して、教育的意義を最大限生かしながら、児童の国際理解及びスポーツの見方・考え方を働かせ、資質・能力の更なる育成につなげるため。

２　期間　第１期：平成３０年１１月初旬～平成３０年１２月初旬（女子ハンドボールアジア選手権）
第２期：平成３１年１１月初旬～平成３１年１２月初旬（女子ハンドボール世界選手権）

３　児童　熊本大学教育学部付属小学校６年２組　３６人

４　内容　総合的な学習の時間、体育、外国語活動の時間を中心に横断的且つ柔軟に取り組んでいく。

５　指導計画

総合的な学習の時間	体育	外国語活動
【オリンピック・パラリンピック教育】 ①　歴史・意義・目的 ②　メリット・デメリット ③　東京開催における明と暗 ④　東京開催をよりよくするためには ⑤　女子ハンドボール国際大会とは ⑥　女子ハンドボール国際大会を盛り上げるためには ⑦　応援グッズや応援歌制作 ⑧　大会観戦 ⑨　大会を振り返って	【ミニハンドボールの授業】 ①　オリエンテーション・ルール確認 ②　大会動画を見ながら、ハンドボールの魅力を味わう ③　シュートの仕方って？ ・ステップシュート・ジャンプシュート ④　捕りやすいパスって？ ⑤　パスをもらうための動きって？ ⑥　点を取るための作戦って？ ⑦　点を取られないための作戦って？ ⑧　決勝戦を動画で観戦	【５年 “Where do you want to go in Kumamoto?” *We Can! 1 Unit 6*／６年 “I like my town!” *We Can! 2 Unit 4*】 ①　ハンドボール選手との交流「熊本のおすすめスポットを紹介しよう！」の学習の見通しをもつ。 ②　既習表現も活用しながら、熊本のおすすめスポットを紹介する表現を知る。 We have Kumamoto Castle. You can see great Kumamoto view. etc… ③　ハンドボール選手が興味をもちそうなおすすめスポットを３つ程選び、友だちとやりとりの練習をする。 ④　予想される質問と、それに対する答えの表現を考える。また、相手の国や地域について質問してみたいことを考え、練習する。 ⑤　実際に交流を行い、②～④で学習し、練習してきた表現を使いながら、選手とやりとりする。 ⑥　単元の学習や交流を通して、考えたことや体験して感じたことを振り返る。

６　実際の取り組みの詳細（別紙）